第５６回新宿区景観まちづくり審議会

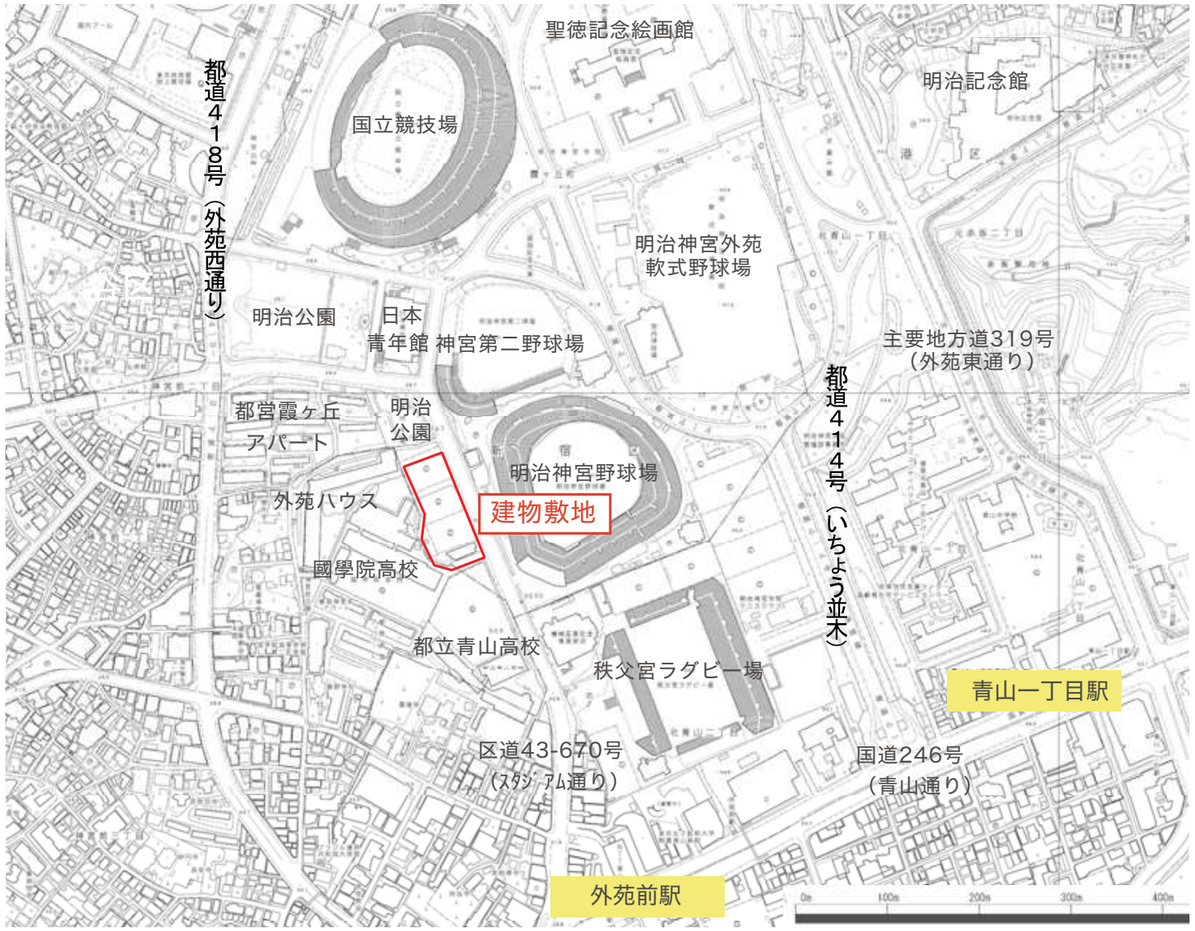
[報告２] 資料

日本青年館・日本スポーツ振興センター本部棟景観事前協議資料

目次

01. 敷地概要 : 01
02. 周辺状況図 : 02
03. エリア特性 : 03
04. 上位計画 : 04
05. 計画概要 : 06
06. 景観特性 : 07
07. 景観形成に関する方針 : 08
08. 立面図 : 15
09. 景観モンタージュ : 17

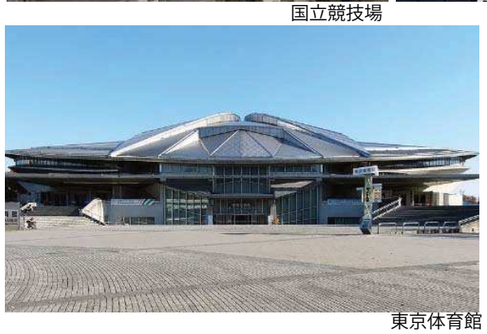
■案内図



国立競技場

明治神宮球場

明治神宮外苑軟式野球場・絵画館

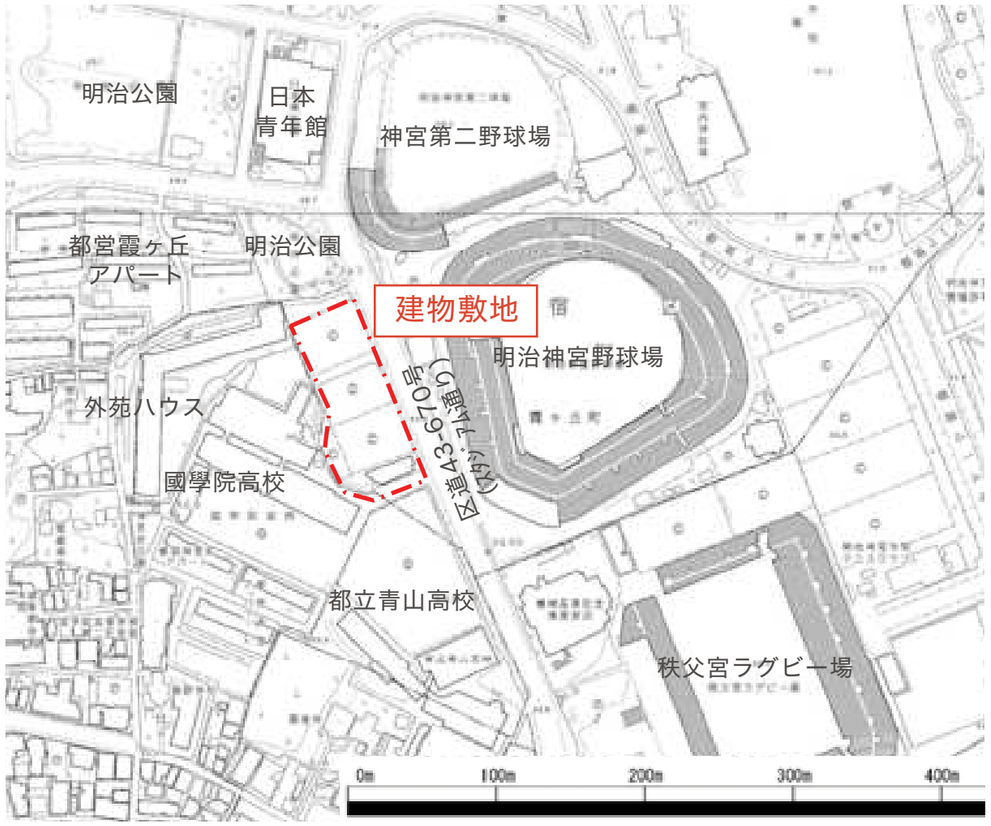

東京体育館

秩父宮ラグビー場

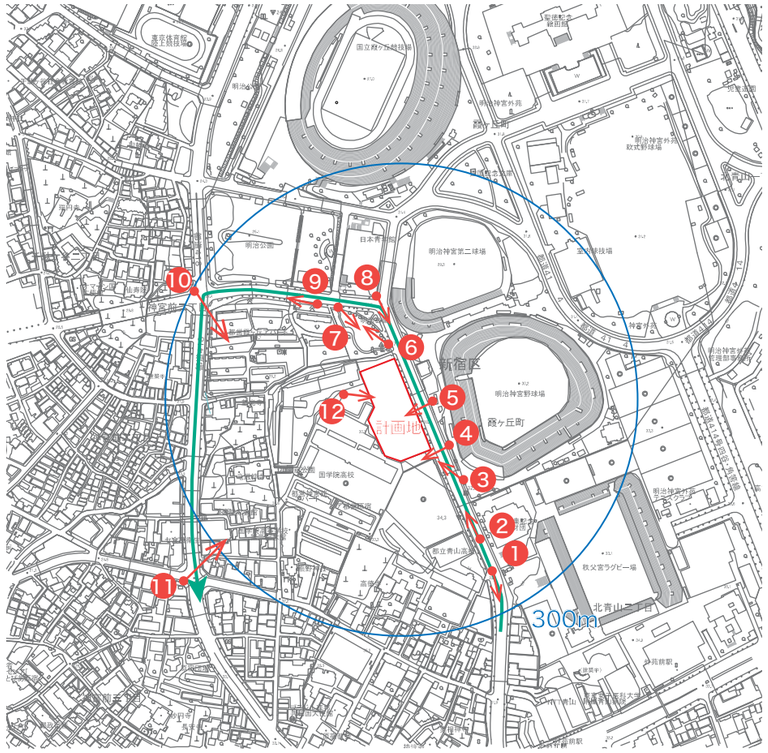
いちょう並木

■敷地概要

項目	内容
所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町16番地8号
敷地面積	6,671㎡
道路幅員	東側：区道43-670　約20m
地域地区	用途地域　：　第一種中高層住居専用地域（見直し相当用途地域：商業地域）
	風致地区　：　明治神宮内外苑付近風致地区（第二種風致地区）
	文教地区　：　第一種文教地区
	防火指定　：　準防火地域
	高度地区　：　第3種高度地区
地区計画	東京都市計画神宮外苑地区地区計画（再開発等促進区を定める地区計画）
容積率	300%（東京都市計画神宮外苑地区地区計画より600%）
建蔽率	40%
建築物等の高さの最高限度	80m　ただし、建築基準法施行令第2条第1項第6号に定める高さとする（東京都市計画神宮外苑地区地区計画より）
日影規制	スタジアム通り側：3時間-2時間（測定水平面+6.5m）



※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。



歩行ルート範囲
❶ 写真 No.

①スタジアム通り。秩父宮ラグビー場前から、外苑前方向を望むと、10 階前後の商業ビルがスタジアム通り沿いに立並び、都会的な雰囲気が感じ取れる。

②スタジアム通り。テピア前から、計画地を望むと、街路樹が立並び、緑量豊かな街路景観を形成していることが分かる。

③スタジアム通りから北側を望む。右手に明治神宮野球場の緑量豊かな高木並木が、落ち着きのある街路景観を形成している。

④スタジアム通り。計画地に隣接して、青山高校、國學院高校等の文京施設が立並び落ち着きのある雰囲気を醸し出している。

⑤スタジアム通り。計画地に正対する。ほぼ等間隔に植樹される並木が街並みにリズムを生み出している。

⑥スタジアム通り。明治公園を望む。道路の曲線にそって舗装された明治公園のペイブメントが特徴的な広場景観を生み出している。

⑦スタジアム通り。遠くに青山地区の 100m 超えの超高層ビルを望むことができ、都市的雰囲気と自然の対比的な景観を同時に感じることができる。

⑧スタジアム通り。遠くに外苑地区のオフィスビル群を望むことができる。都市と自然の相反する景観を同時に感じることができる。

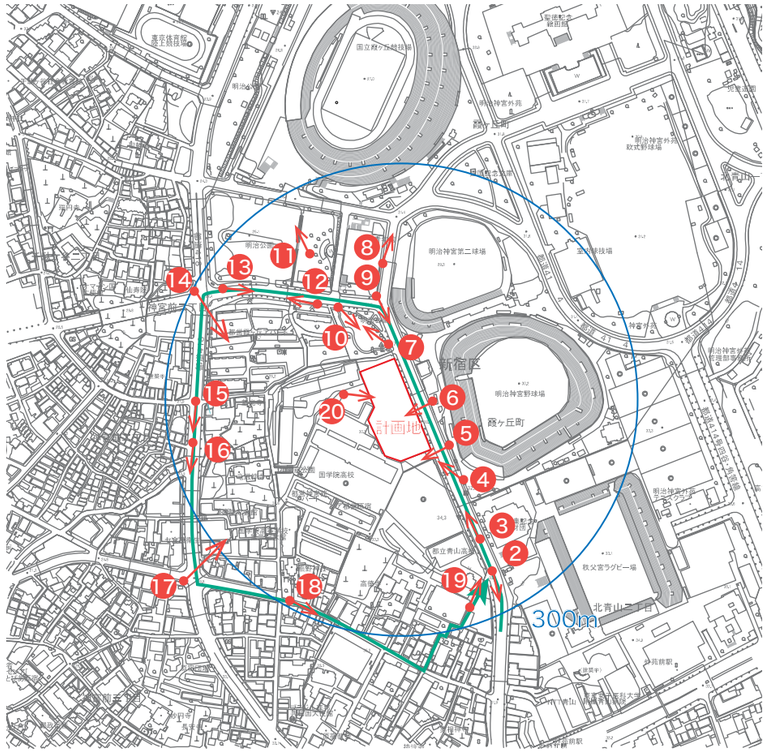
⑨霞ヶ丘アパート横。1 月という撮影時期のために、並木が落葉している。道路に設けられたパーキングメーターに多くの車両が停車している。

⑩外苑西通り。隣棟間隔にゆとりのある霞ヶ丘アパートの配置計画により、街路上から空を多く感じることがえきる。

⑪外苑西通り。外苑地区に近づくにつれて、商業ビルが多くみられるようになり、にぎやかな街路景観を演出する。

⑫國學院高校グラウンド。計画地越しに明治神宮野球場・神宮第二球場を望むことができ、スポーツの集積地であることを感じることができる。

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。



歩行ルート範囲
❶ 写真 No.

⑬外苑西通り。正面に国立競技場、右手に霞ヶ丘アパートを望む。高層建物が存在しないため、開放感のある景観を形成している。

⑭外苑西通り。隣棟間隔にゆとりのある霞ヶ丘アパートの配置計画により、街路上から空を多く感じることができる。

⑮外苑西通り。外苑側に向けて、緩やかな坂道が連続し、。起伏のある神宮外苑地区周辺の地形を体感することができる。

⑯外苑西通り。沿道にはシャープでありながらも特徴のある中規模商業ビルが建ち並び、都市的で洗練された印象を与えている。

⑰外苑西通り。外苑地区に近づくにつれて、商業ビルが多くみられるようになり、にぎやかな街路景観を演出する。

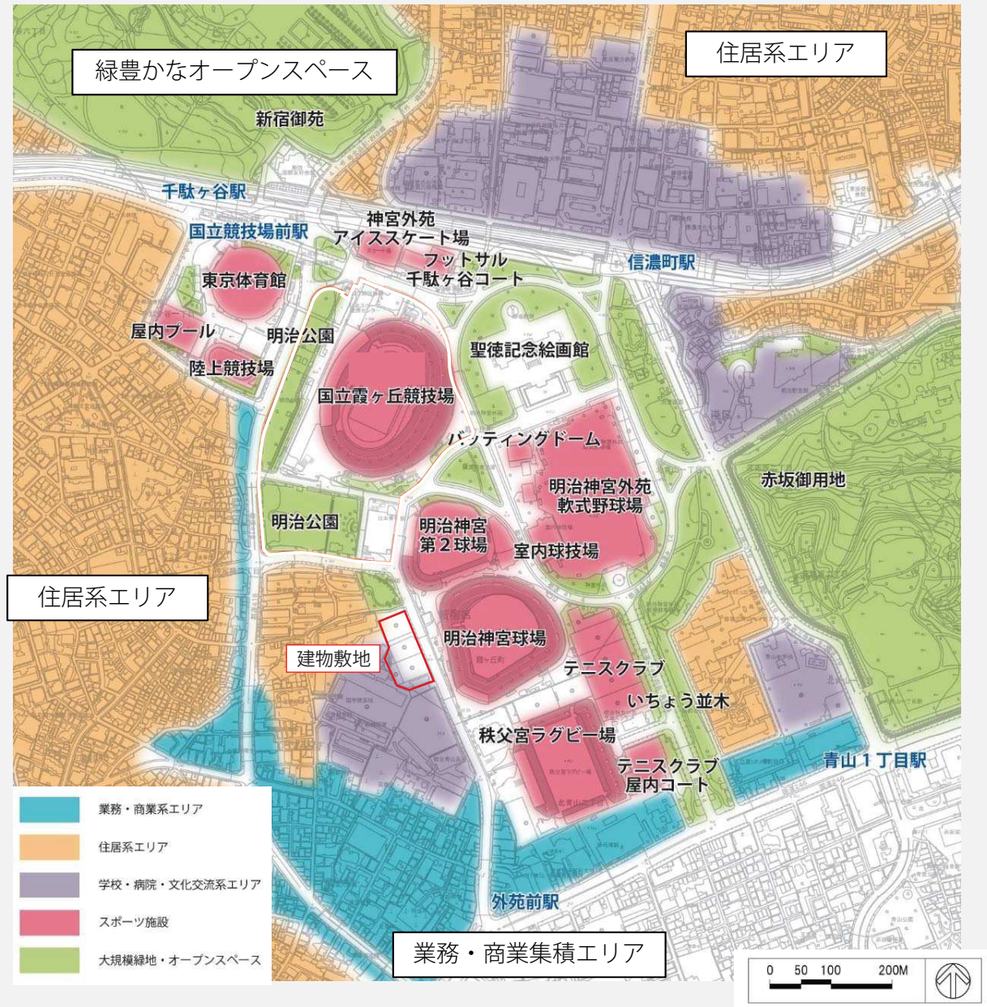
⑱外苑西通りから小路に入る。沿道には低層の商業建物が連続し、落ち着きのあるヒューマンスケールな街並みを形成している。

⑲青山高校裏手側。高校の建物とグラウンドの防球ネットや高層商業ビルにより、囲まれ感を感じる。

⑳國學院高校グラウンド。計画地越しに明治神宮野球場・神宮第二球場を望むことができ、スポーツの集積地であることを感じることができる。

日本を代表するスポーツ施設の集積と、神宮外苑及び明治公園、新宿御苑などの緑豊かなオープンスペース

■ 周辺エリアの土地利用



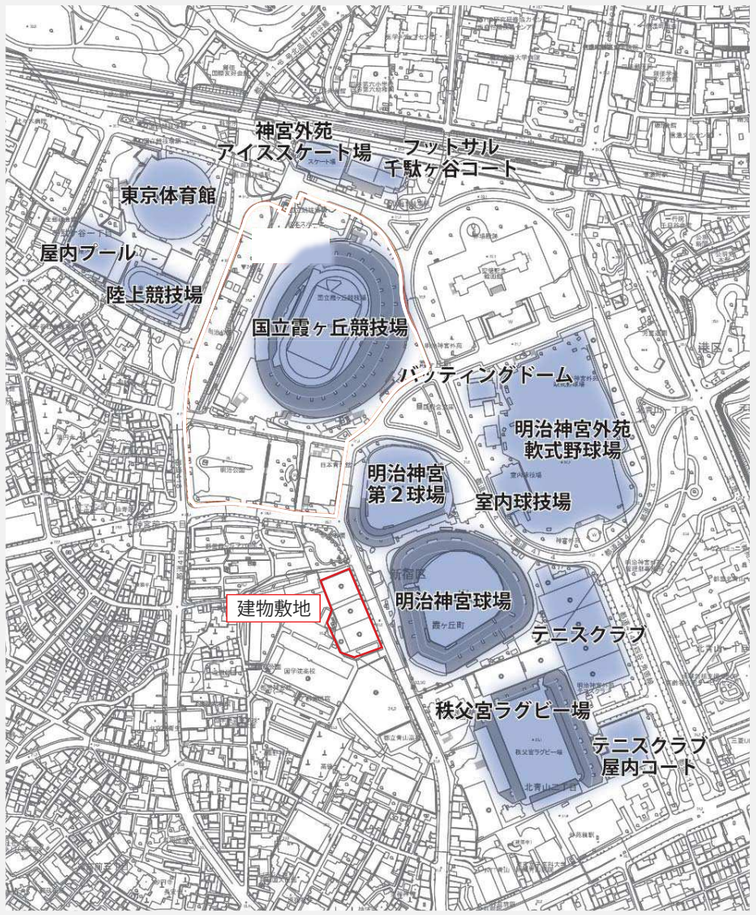
当該エリアは、大正期に整備された神宮外苑の都市構造を基盤として、風格ある都市景観と苑内の樹林による豊かな自然環境を有している。

昭和39年の東京オリンピックの主会場となった国立霞ヶ丘競技場をはじめとした日本を代表するスポーツ施設が多く集積し、国民や競技者がスポーツに親しむ一大拠点を形成している。

一方、JR中央線の線路より北側は、都市の憩いの空間である新宿御苑が広がるとともに、その周辺には低層～中層の住宅エリアが広がる。

さらに、敷地西側エリアも同様の住宅エリアとなっているが、青山通り沿道では業務・商業が集積し、施設更新により高層建築物が並ぶエリアとなっている。

■ スポーツ施設の分布



東京体育館 1961年竣工、1990年建替

国立霞ヶ丘競技場 1958年竣工

明治神宮球場　1926年竣工

秩父宮ラグビー場　1947年竣工

アイススケート場　1963年竣工

屋内テニスコート　1993年竣工

大型スポーツ施設から小規模なスポーツ練習場に至るまで、多様な規模や種類のスポーツ施設が集積している。スポーツイベント・競技空間だけでなく、日常の運動空間として多くの人々に活用されている。

■ スポーツ基本計画

国　H24.3

○今後５年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策（抜粋）
・オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等を通じた国際交流・貢献の推進

○具体的な施策展開
・日本スポーツ振興センターは、国内外のスポーツ関係団体との連携による国内外の情報収集・分析及び提供、国立霞ヶ丘競技場等の施設の整備・充実等を行い、オリンピック・ワールドカップ等大規模な国際競技大会の招致・開催に対し支援する。

■ 2020年の東京

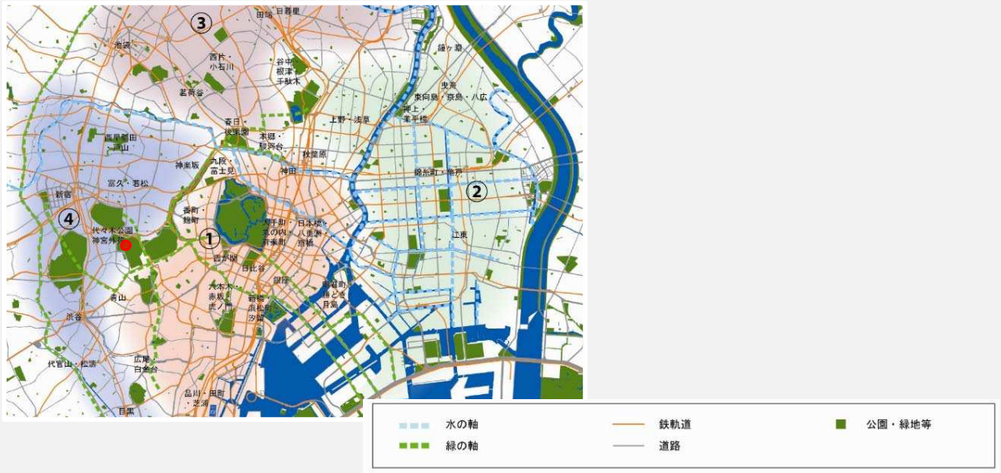
東京都　H23.12

○四大スポーツクラスタプロジェクト
・大規模スポーツ施設を中心としたさまざまな施設の集積（スポーツクラスター）により、集客力の高い、賑わいあふれるエリアが生まれ、活力あるまちを再生

■ 東京の都市づくりビジョン

東京都　H21.7改訂

○センターコア・再生ゾーン　西部エリア
（代々木公園・神宮外苑）
・代々木公園、新宿御苑、神宮外苑、赤坂御用地など、都心の大規模公園などを生かした緑の軸が形成され、迎賓館、絵画館などを中心とする風格のある景観を背景に、ジョギング、サイクリング、散策、周辺のカフェや店舗など、楽しみのある、緑豊かで快適な空間を形成

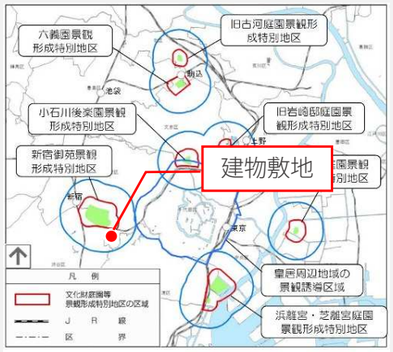


■ 東京都景観計画

東京都　H23.4改訂

○聖徳記念絵画館：眺望の保全に関する景観誘導
・目的
　我が国の近代化の過程で、首都東京の象徴性を意図して造られた建築物は、その周辺を含め、今日も風格ある景観を形成している。これらの建築物を中心とした眺望が保全されるよう、当該建築物の周辺で計画される建築物等の規模、色彩等を適切に誘導する。

○新宿御苑周辺：文化財庭園等の眺望の保全に関する景観誘導に関する区域
庭園の魅力を更に向上させていくとともに、庭園内部とその背景を含めた眺望を保全し、歴史的、文化的な景観を次代へと伝えていく
・景観形成の目標
　国際的な観光資源としてふさわしい、庭園からの眺望景観を保全し、歴史的・文化的景観を次世代に継承する。
・景観形成の方針
　「庭園内からの眺望を阻害しない周辺景観の誘導」
　庭園周辺に立地し、庭園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩などを適切に誘導し、庭園の持つ歴史的・文化的景観を保全・継承する。



■ パークマネジメントマスタープラン

東京都　H16.8

○基本理念
生命を育む環境を次世代に継承する公園
都市の魅力を高める公園
豊かな生活の核となる公園

○都心の緑のネットワーク推進プロジェクト
・都心周辺における緑と文化のネットワーク形成の推進
　都心周辺部の都立公園を核とする地域において、再開発や景観形成事業など周辺プロジェクトの事業者と協力し、既存の大規模公園や神社などの緑と再開発によるオープンスペースなどが連続する歩行者空間などで結ばれた、緑と文化を楽しむ都市空間の形成を進める。

■ 明治公園マネジメントプラン

東京都　H18.12

○明治公園の基本的な性格・役割
・区部中央部における緑の拠点となる公園
　周辺の歴史的施設や民間施設と連携を図り都心部のおける緑の拠点を形成する。
・区部中央部の魅力を高める公園
　都心部における緑や周辺の文化・スポーツ施設とのネットワークを図り都心部の魅力を高める。
　また、公園の魅力アップのため、規制緩和や民間活力の導入を図る。
・発災時に避難場所となる公園※
　都民の生命の保護を第一に、発災時における避難場所としての役割を果たす公園としていく。

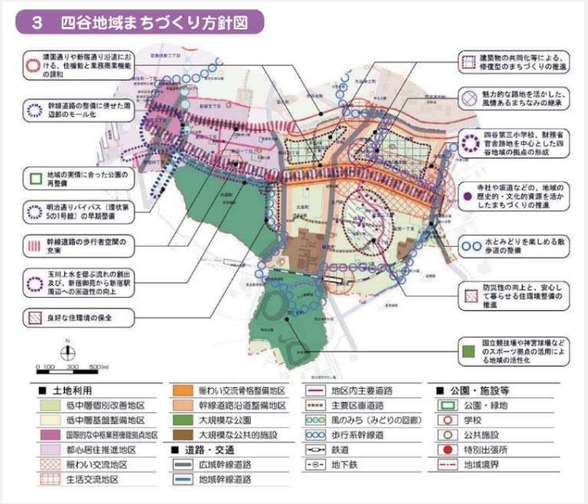
■ 新宿区都市マスタープラン

新宿区　H19.12

「暮らしと賑わいの交流創造都市」　計画敷地　・・・七つの都市の森、水とみどりの環、
信濃町駅周辺　・・・生活交流の心
外苑西通り・東通り・・・都市活動軸

・七つの都市の森
明治神宮外苑周辺のまとまったみどりの積極的な保全・拡充を促進
・水とみどりの環
明治神宮外苑のみどりを位置づけ新宿御苑や外濠等と連続する、水に親しめる空間や自然を感じることができる緑の骨格を形成

○四谷地域まちづくり方針
・みどり・公園
－新宿御苑から明治神宮外苑、外濠に至る歩行系幹線道における街路樹の充実等を行い、区民と協働でみどりの創出を図る。
－公園の再整備にあたっては、公園利用者のニーズを把握し、地域の実情にあった公園整備を進める
・都市アメニティ
－スポーツ拠点を活かしたまちの活性化
国立競技場や神宮球場などのスポーツ施設を、地域の活性化に結びつけることを検討。



■ 新宿区景観形成ガイドライン

新宿区　H23.4改訂

○神宮外苑・南元町エリア
・神宮外苑の広大な眺めと豊かなみどりに囲まれたまちなみへ

○景観形成の方針
・聖徳記念絵画館の広大な眺めを保全する
聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを、将来にわたって継承する
・周辺のまとまったみどりと身近なみどりを感じられる景観をつくる
住宅地から、周囲を包み込む神宮外苑や赤坂御所の緑を眺められるような配慮をする。また、住宅地内でも身近なみどりを感じられるようにする。

■設計概要

項　目	内　容
構造種別	地下：鉄筋鉄骨コンクリート造　　地上：鉄骨造
規　模	地上16階、地下2階、塔屋1階
建物高さ	約70m(最高高さ約72m(ペントハウス部分))
用　途	劇場(1250席)、ホテル(220室)、事務所
建築面積	2,668.4㎡
延床面積	約32,000㎡
建ぺい率	約40%
容積率	約409%

■スケジュール

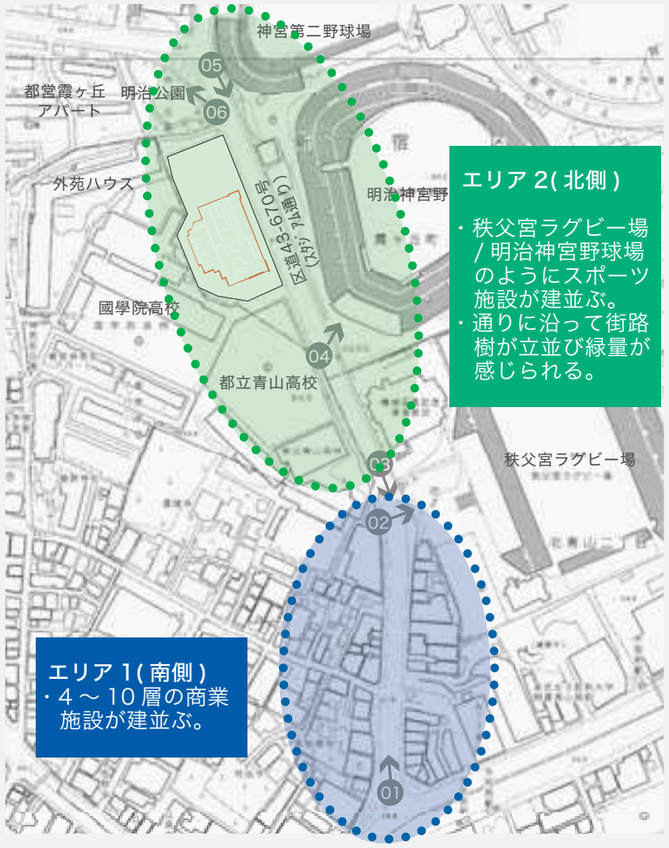
年度	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29
基本設計				
実施設計				
新築工事		着工		竣工

■配置図

■イメージパース(案)

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

■景観特性－１　スタジアム通り沿いの景観



スタジアム通りの景観について

スタジアム通りの景観特性は、以下のように、「南側」「北側」の２つに分けることができる。

エリア 1(南側エリア)

・スタジアム通りの南側（外苑前寄りのエリア）には、4 ～ 10 層の中層の商業ビルが建ち並び、青山 / 外苑前の都会的な街並みが連続する。

エリア 2(北側エリア)

・スタジアム通りの北側（新国立競技場寄りのエリア）には、秩父宮ラグビー場や明治神宮野球場、神宮第二球場といった、大型のスポーツの観覧場が連続し、一団のスポーツクラスタを形成する。
・通沿いの街路樹と明治神宮野球場 / 神宮第二球場の敷地内に植樹された高木により、緑量の感じられる沿道緑道空間が形成されている。

01

02

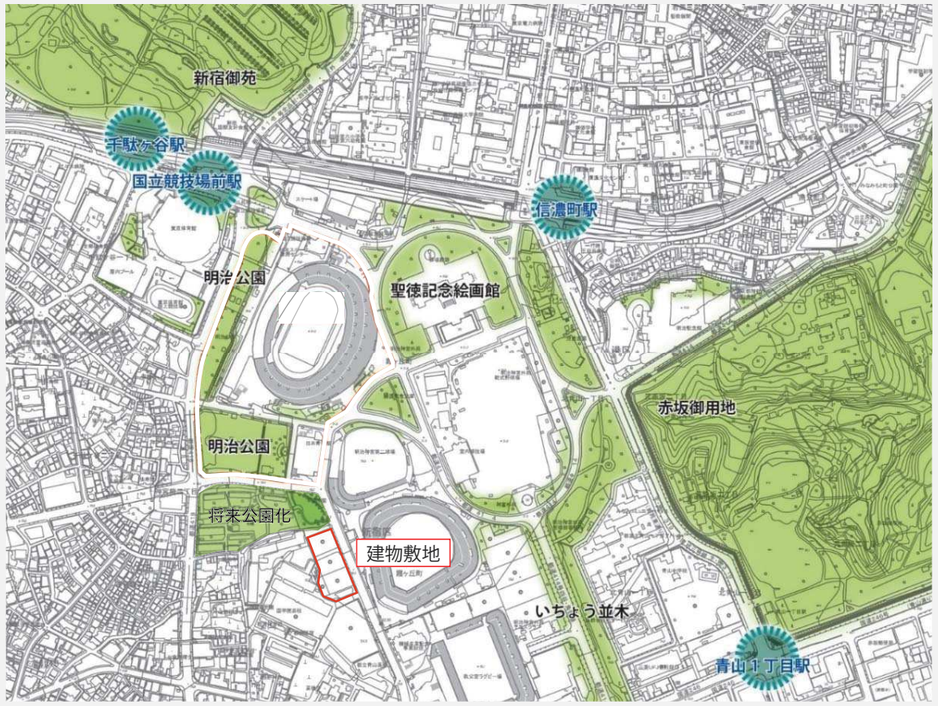
03

04

05

06

■景観特性－２　地区内のオープンスペース



明治公園

・周辺の歴史的施設や民間施設と連携を図り、都心部における緑の拠点となる公園。

明治公園　霞岳広場

絵画館・
いちょう並木

・大正時代に完成した歴史ある文化施設「聖徳記念絵画館」が立地しており、地域の重要な歴史資源となっている。
・青山通りから南北に続くいちょう並木は、整然とした都市景観を形成する。

いちょう並木

新宿御苑

・都心のシンボル的な大規模な緑地であり、国内でも数少ない風景式庭園として親しまれる憩いの空間。

新宿御苑

上位計画における位置づけ

【スポーツ基本計画（国　H24.3）】
・国立霞ヶ丘競技場等の施設の整備・充実等を行い、オリンピック、ワールドカップ等大規模な国際競技大会の招致・開催に対し支援。

【2020年の東京（東京都　H23.12）】
・「スポーツ都市東京」の実現。
・スポーツクラスター等の整備。国立霞ヶ丘競技場等の整備促進。

【東京の都市づくりビジョン（東京都　H21.7改訂）】
・都心の大規模公園などを生かした緑の軸が形成され、迎賓館、絵画館などを中心とする風格のある景観を背景に、ジョギング、サイクリング、散策、周辺のカフェや店舗など、楽しみのある、緑豊かで快適な空間を形成

【東京都景観計画（東京都　H23.4改訂）】
・都心のシンボル的な大規模な緑と、これらを結ぶ幹線道路の・国際的な観光資源としてふさわしい、庭園からの眺望景観を保全し、歴史的・文化的景観を次世代に継承する。
・庭園周辺に立地し、庭園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩などを適切に誘導し、庭園の持つ歴史的・文化的景観を保全・継承する。
＊庭園：新宿御苑

【パークマネジメントマスタープラン（東京都　H16.8）】
・都心の緑のネットワーク推進
　既存の大規模公園などの緑と民間プロジェクトによるオープンスペースが連続する歩行者空間などで結ばれた、緑と文化を楽しむ都市空間の形成

【明治公園マネジメントプラン（東京都　H18.12）】
・周辺の歴史的施設や民間施設と連携を図り都心部における緑の拠点を形成。
・都心部における緑や周辺の文化・スポーツ施設とのネットワークを図り都心部の魅力を高める。
・発災時における避難場所としての役割を果たす公園としていく。

【新宿区景観形成ガイドライン（新宿区　H23.4改訂）】
・聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを将来にわたって継承する
・住宅地から、周囲を包み込む神宮外苑や赤坂御所のみどりを眺められるような配慮をする。また、住宅地内でも身近なみどりを感じられるようにする。

【渋谷区（渋谷区景観計画　H25.3）】
・新宿御苑内部からの眺望を踏まえ、建築物等の配置等を工夫し、新宿御苑のもつ歴史的・文化的景観を保全・継承。

【港区（港区景観計画　H21.8）】
・聖徳記念絵画館からの風格を際立たせる銀杏並木の眺望を踏まえ、建築物等の配置等を工夫、歴史的・文化的景観を保全・継承。

【神宮外苑地区地区計画（東京都　H25.6）】
・国内外からの集客力が高くにぎわい溢れるスポーツ・文化・交流のまちを形成。
・国内外から人々が集う、東京の顔となる地区にふさわしい風格と活力が共存する魅力あるまちを目指す。
・立体的な歩行者ネットワークを形成することにより、高低差のある地形上の課題を解消して、歩行者動線のバリアフリー化を推進する。

キーワードの整理

遠景

○ スポーツクラスターの整備
　・スポーツ・文化交流拠点の再整備
○ 大規模公園を活かした緑の軸
○ 新宿御苑・聖徳記念絵画館からの眺望保全
○ 国内外からの集客力が高いスポーツ・文化・交流のまち

中景

○ 緑豊かな風格のある景観（スポーツ・文化のみち）
○ 楽しみのある緑豊かで快適な空間
○ オープンスペースが連続する歩行者空間
○ 歩行者動線のバリアフリー化

近景

○ 身近な緑が感じられる空間
○ 風格と活力が共存する魅力あるまち
○ 緑と文化を楽しむ都市空間の形成
○ 訪れる人たちの交流スペースの役割をもつ公園

地域の景観特性

・都心部において、明治神宮外苑をはじめとして、新宿御苑や赤坂御用地などの緑豊かな自然環境が集積している
・日本を代表する様々な規模や種目のスポーツ施設が立地し、市民や競技者がスポーツに親しむ一大拠点を形成している。
・JR線及び地下鉄、計５駅４線による交通利便性の高い立地である。
・歩道橋や高低差のある地形により、エリア内バリアフリー動線が脆弱である
・風致地区、文教地区に指定されたエリアであり、大規模開発が進みにくく、新宿御苑、神宮外苑いちょう並木からの眺望の保全が誘導されている。

景観形成に関する方針

遠景　スポーツクラスターの中核にふさわしい景観形成

スカイライン
方針 1
周辺建物や神宮外苑の緑との調和に配慮したスカイラインの形成

躍動感の表現
方針 2
・スポーツ・文化の「躍動」「成長」のイメージを垂直に伸びるフォルムで表現、リズム感のあるスカイラインを形成
・日本を代表するスポーツの聖地として相応しい動的なデザインの実現

中景　沿道に配慮したファサードデザインとオープンスペースネットワークの創出

周辺との調和
方針 1
周辺の街並みに調和したファサードデザインの形成

連続する歩道空間
方針 2
明治公園から連続する歩道状空地を整備、広場状空地の確保、歩行者ネットワークの拡充による回遊性促進

近景　記憶の継承・沿道景観に配慮したにぎわいを創出するストリートを形成

記憶の継承
方針 1
日本青年館・外苑地区の記憶の継承を意図し、経年変化が楽しめる素材感を活かしたデザインの実現

にぎわい創出
方針2
スポーツ関連の展示、広場状空地や劇場・ホワイエの適切な配置による歩道状空地と連携した賑わいのある街並みの形成

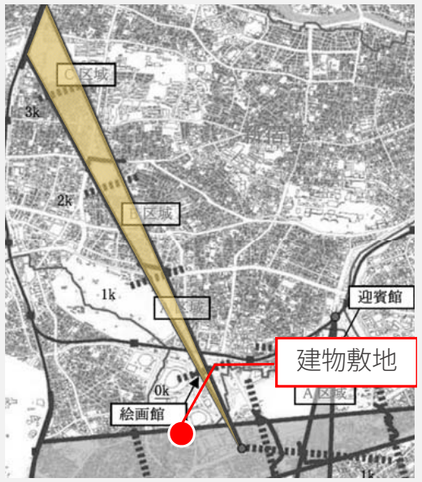
※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

遠　景　スポーツクラスターの中核にふさわしい景観形成

方針　周辺建物や神宮外苑の緑との調和に配慮したスカイラインの形成

エリア特性

絵画館　：隣接する聖徳記念絵画館は東京都景観計画において景観誘導区域の設定があるが、当該計画地は誘導地区の範囲外となっている。



新宿御苑：東京都景観計画では、新宿御苑からの眺望点を保全し、庭園内から視認できる建築物を対象とした配置・色彩の適切な誘導を図っている。

絵画館の景観軸に対する配慮

絵画館からの眺望に配慮し、建物高さを抑えた計画とする。

※こちらの眺望点からは計画建物は見えない。

⑧-1

左手に日本青年館・日本スポーツ振興センター本部棟の高層部が見える

⑧-2

新宿御苑園内からの眺望の配慮

建物高さを極力抑えることで、新宿御苑の緑豊かな景観を保全し園内からの眺望に配慮した計画とする。

A

B

遠　景　スポーツクラスターの中核にふさわしい景観形成

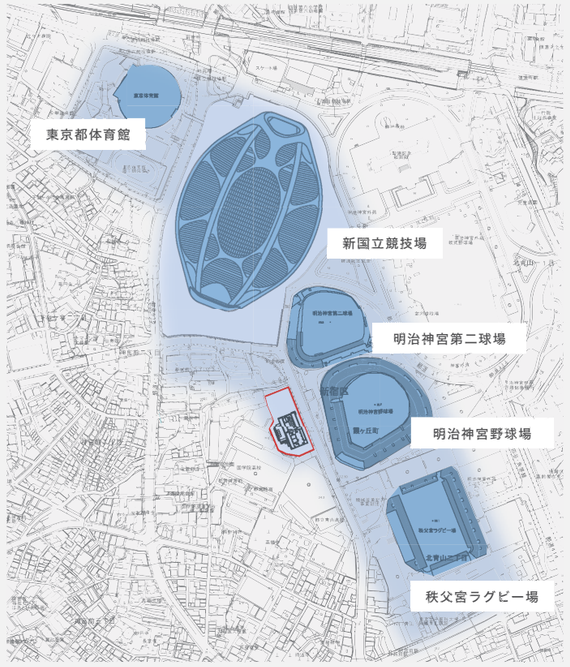
方針

・スポーツ・文化の「躍動」「成長」のイメージを垂直に伸びるフォルムで表現、リズム感のあるスカイラインを形成
・日本を代表するスポーツの聖地として相応しい、動的なデザインの実現

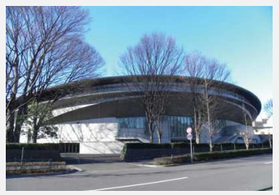
エリア特性

・日本を代表する様々な規模や種目のスポーツ施設が立地し、市民や競技者がスポーツに親しむ一大拠点を形成している。

・スポーツクラスターの建物の特徴として、流線型（流れるようなやわらかいフォルム）等により生まれる、動的なデザインが挙げられる。



明治神宮野球場


東京体育館

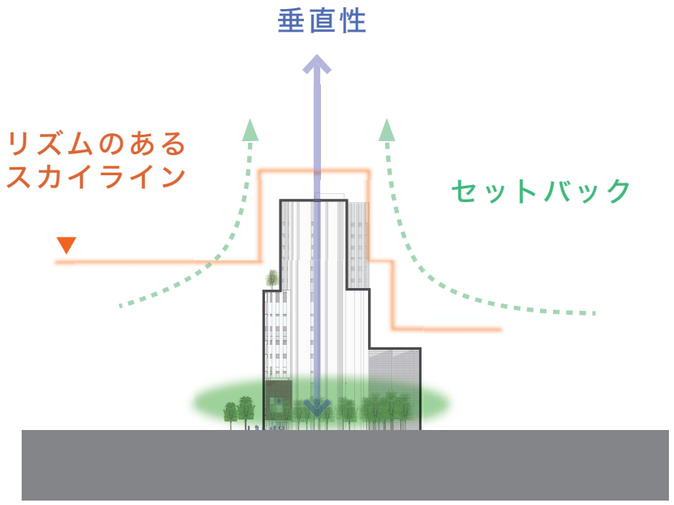
秩父宮ラグビー場

新国立競技場

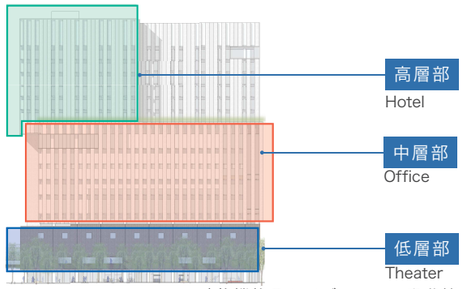
デザイン方針

・スポーツ・文化の**「躍動感」や日本青年館の「青年」という言葉から想起される「成長」のイメージ**を垂直性を基調としたデザインで表現。

・建物を高層部・中層部・低層部の３つのボリュームに分節し、それらが互いにずれながら積層する構成とすることで、**「動き」**をもったデザインが特徴的なスポーツクラスター内の建物との調和を図る。



■「動き」と「変化」を生みだす建物ボリュームの構成
・建物を高・中・低層部の３つのボリュームに分節する。
・矩形のボリュームの組合わせにより、スポーツクラスターの建物と調和する「動き」を表現。



建物機能ごとにボリュームを分節

動的で変化のある建物ボリュームの構成

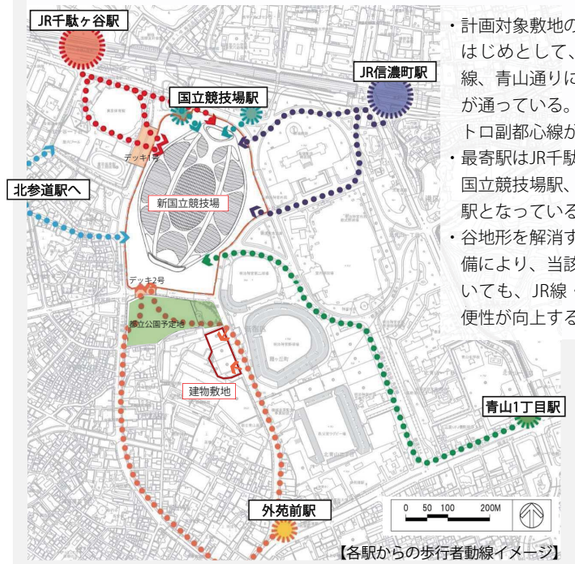
南側外観イメージ (青山方面から見る)

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

中　景　沿道に配慮したファサードデザインとオープンスペースネットワークの創出

方針　・明治公園から連続する歩道状空地を整備、歩行者ネットワークの拡充による回遊性促進

エリア内バリアフリー動線の整備による周辺スポーツ施設の利便性の向上

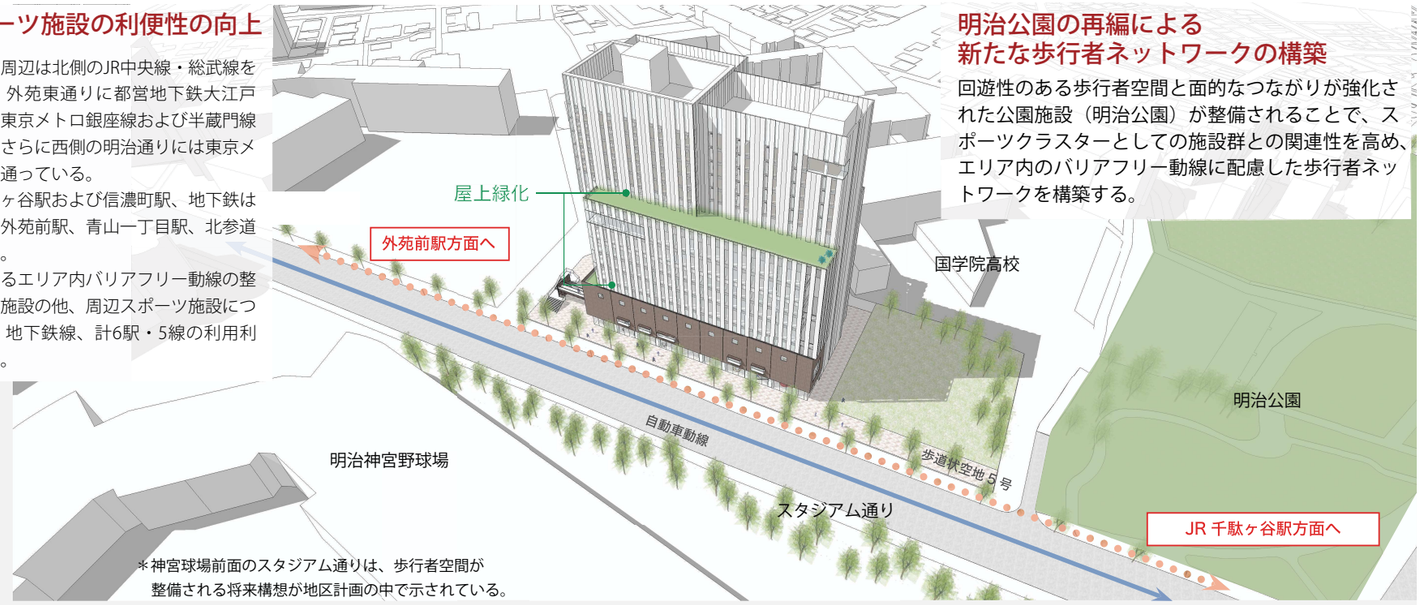


【各駅からの歩行者動線イメージ】

・計画対象敷地の周辺は北側のJR中央線・総武線をはじめとして、外苑東通りに都営地下鉄大江戸線、青山通りに東京メトロ銀座線および半蔵門線が通っている。さらに西側の明治通りには東京メトロ副都心線が通っている。
・最寄駅はJR千駄ヶ谷駅および信濃町駅、地下鉄は国立競技場駅、外苑前駅、青山一丁目駅、北参道駅となっている。
・谷地形を解消するエリア内バリアフリー動線の整備により、当該施設の他、周辺スポーツ施設についても、JR線・地下鉄線、計6駅・5線の利用利便性が向上する。

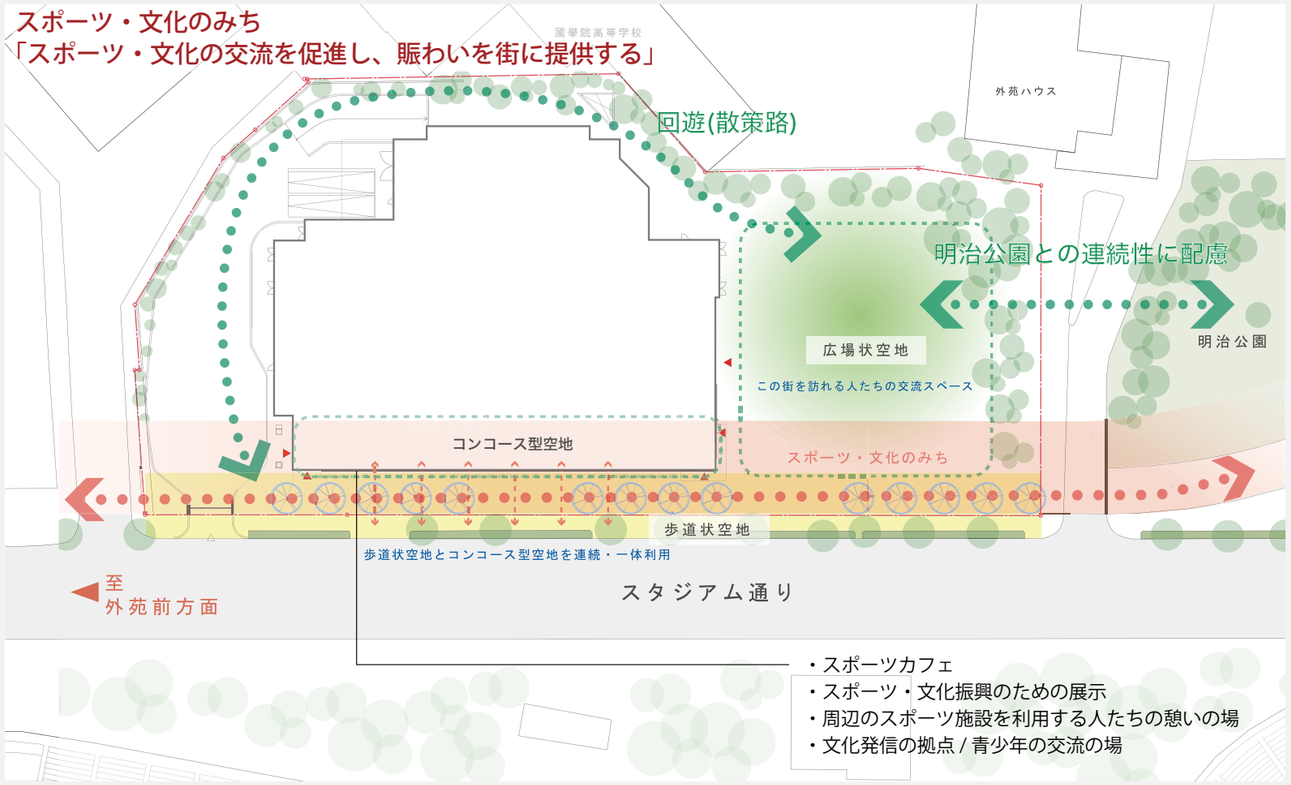
明治公園の再編による新たな歩行者ネットワークの構築

回遊性のある歩行者空間と面的なつながりが強化された公園施設（明治公園）が整備されることで、スポーツクラスターとしての施設群との関連性を高め、エリア内のバリアフリー動線に配慮した歩行者ネットワークを構築する。



＊神宮球場前面のスタジアム通りは、歩行者空間が整備される将来構想が地区計画の中で示されている。

スポーツ・文化のみち
「スポーツ・文化の交流を促進し、賑わいを街に提供する」



・スポーツカフェ
・スポーツ・文化振興のための展示
・周辺のスポーツ施設を利用する人たちの憩いの場
・文化発信の拠点 / 青少年の交流の場

歩道状空地イメージ

散策路イメージ

交流スペースイメージ

現在の明治公園

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

中　景　沿道に配慮したファサードデザインとオープンスペースネットワークの創出

方針

・周辺の街並みに調和したファサードデザインの形成

エリア特性

・敷地東側で新国立競技場から連続するスタジアム通りに接道する。

・國學院高校、都立青山高校などの高等学校と隣接する。特に國學院高校の校舎に対しては、敷地西側で近接している。

スタジアム通り

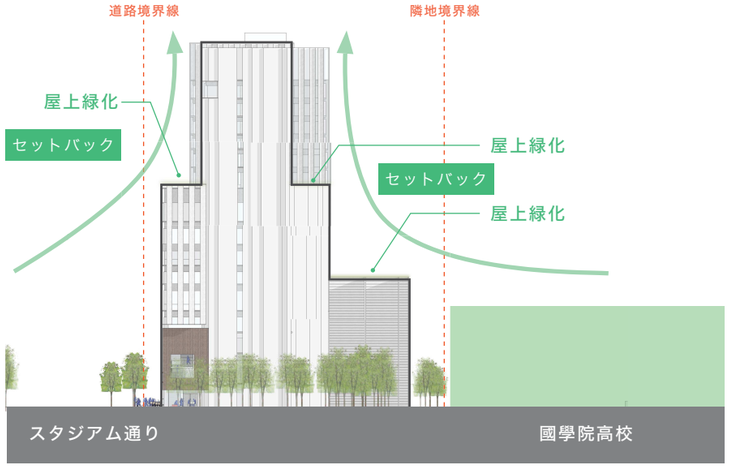
都立青山高校

國學院高校

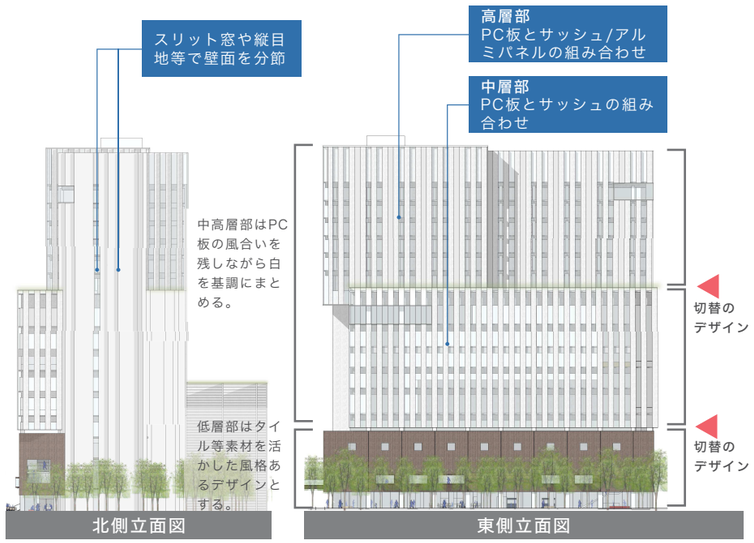
デザイン方針

・高層部のセットバックにより、周辺環境に対する圧迫感を低減するとともに、リズム感のあるスカイライン、軽快な印象をつくる。
・南北面は垂直方向に分節することにより成長のイメージを強調する。
・低層・中層・高層のボリュームの切り替えによりヒューマンスケールにあった街並みをつくる。

■セットバックによる、周辺環境への圧迫感の低減
・建物高層部のセットバックにより、緑量豊かな敷地東側のスタジアム通りと敷地西側の國學院高校に対する圧迫感を低減。



■軽やかなリズム感を与える建物ファサード
・東西面は、PC 板とサッシュの組み合わせにより、南北面は、スリット窓や縦目地等でファサードを垂直方向に分節することで、建物に軽やかなリズム感を与える外観計画とする。



北側外観イメージ (新国立競技場方面から見る)

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

近　景　記憶の継承・沿道景観に配慮したにぎわいを創出するストリートを形成

方針

・日本青年館・外苑地区の記憶の継承を意図し、経年変化が楽しめる素材感を活かしたデザインの実現
・スポーツ関連の展示施設や劇場・ホワイエの適切な配置による歩道状空地・広場状空地と連携した賑わいの創出

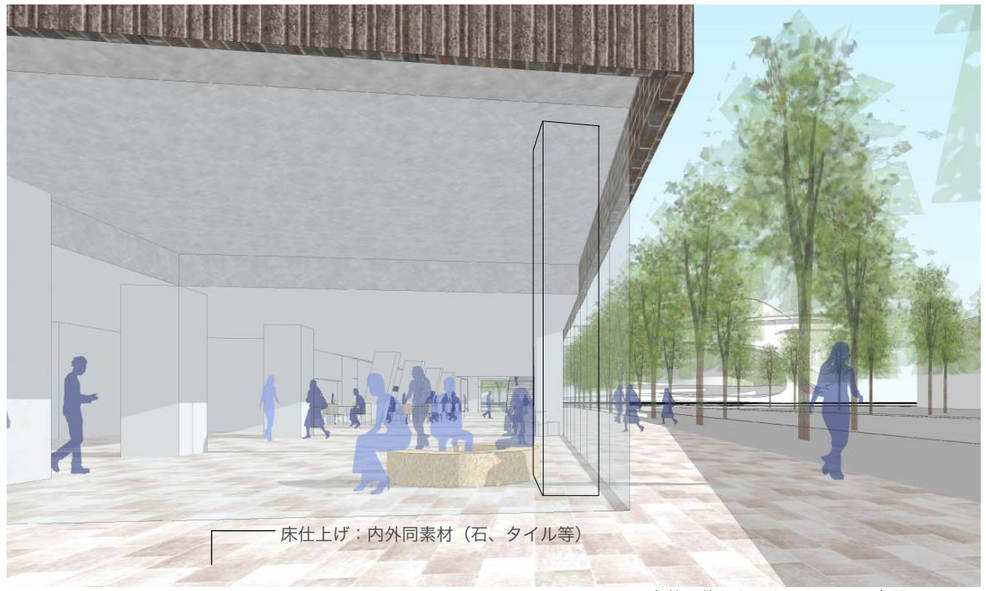
デザイン方針

・低層部はタイル等の経年変化を楽しめ、かつ素材感のある外装材を選択することで日本青年館の記憶を継承しながら、ヒューマンスケールな空間を創出
・スポーツ関連の展示施設やカフェ等の文化機能をスタジアム通り沿いに計画することで、歩道状空地・広場状空地と連携した賑わいの空間の創出

歴史の継承

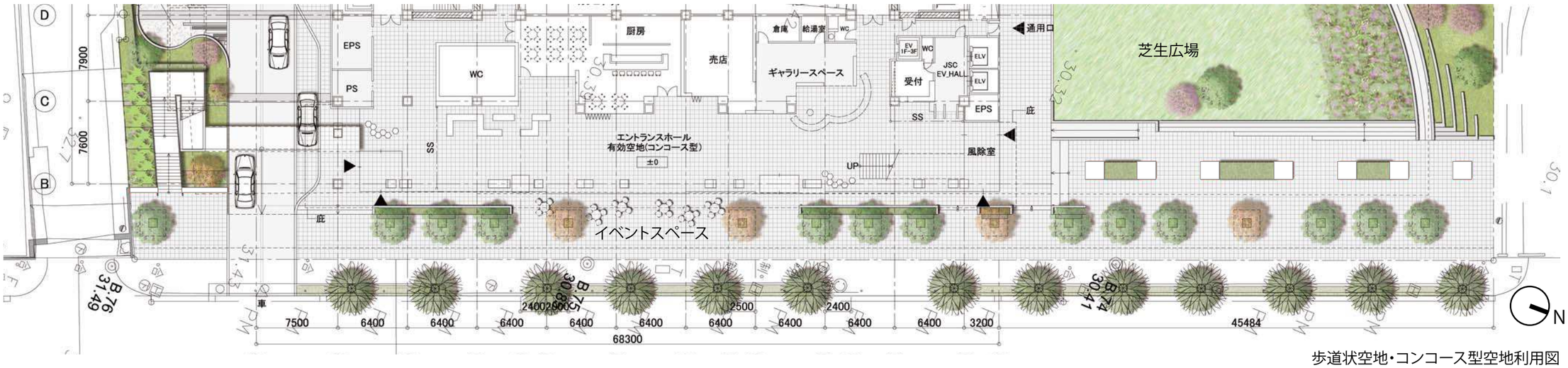
低層部に初代の青年館をイメージしたタイル等を使用することにより、日本青年館の持つ風格や記憶を神宮外苑地区の未来へと引き継ぐ

初代日本青年館（左）と外壁のスクラッチタイル（右）



内外一体となったストリート空間のイメージ

低層部の外観イメージ



歩道状空地・コンコース型空地利用図

近　景　記憶の継承・沿道景観に配慮したにぎわいを創出するストリートを形成

方針

・日本青年館・外苑地区の記憶の継承を意図し、経年変化が楽しめる素材感を活かしたデザインの実現
・スポーツ関連の展示施設や劇場・ホワイエの適切な配置による歩道状空地・広場状空地と連携した賑わいの創出

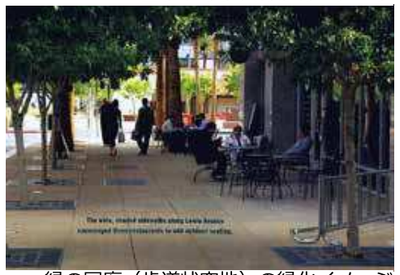
デザイン方針

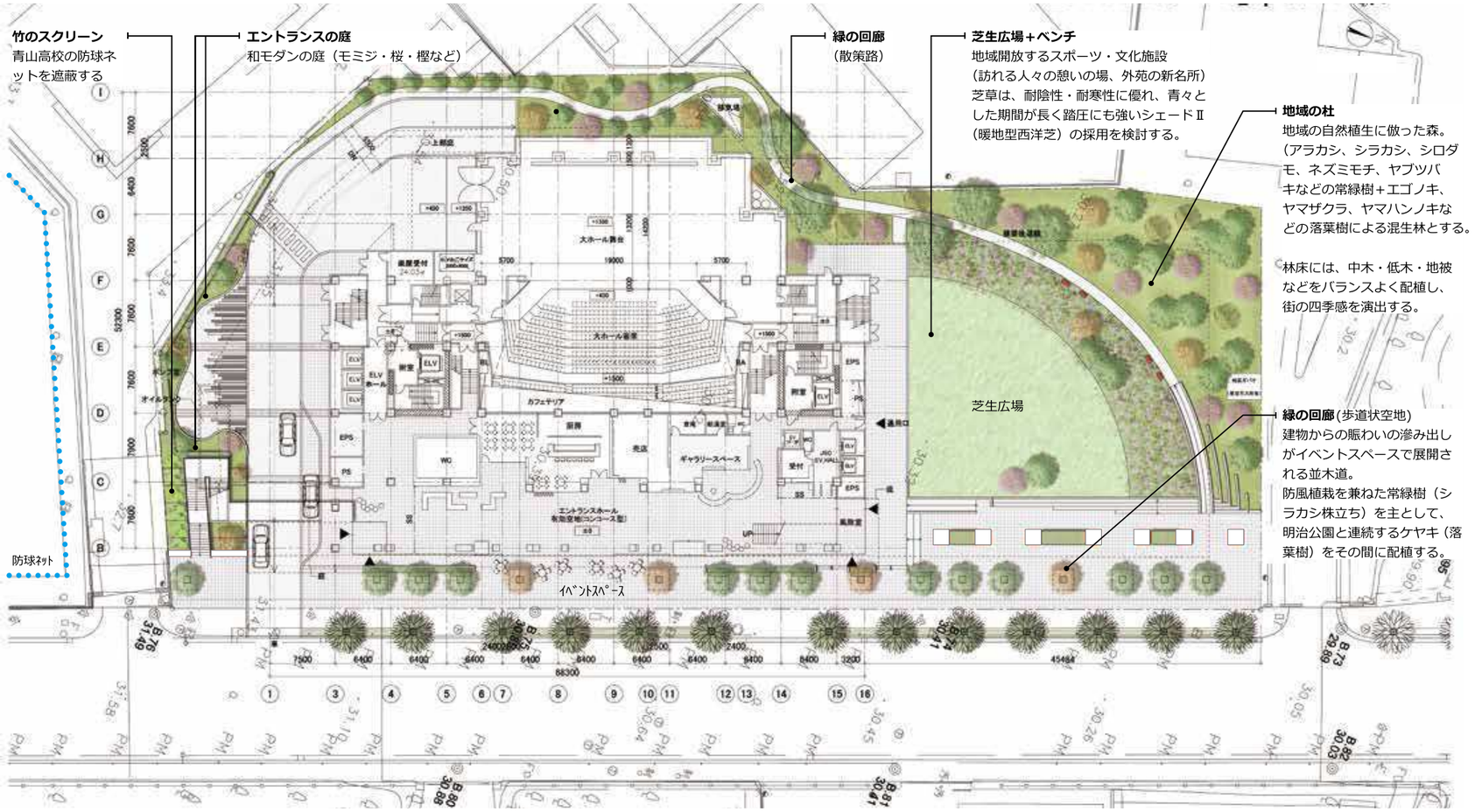
・明治神宮外苑の杜の一角として、周辺の緑のネットワークを補完する植栽計画を行う。

・地域の主たる樹種と推察されるシラカシ群集（典型亜群集）に倣い、樹種の選定を行います。
・壁面後退（６ｍ）により生まれる歩道状空地には、既存の街路樹（アオギリ）と一体となって緑量を感じられる並木（緑の回廊）を創出します。（シラカシ株立ち＋ケヤキ）
・歩道状空地は歩行機能の最大化を図るため、樹木保護蓋による高木植栽とします。
・北側には、緑量ある地域の杜を背景にスポーツ・文化施設として地域開放する芝生広場を設けます。
・緑の回廊(散策路) は、高木・中木・低木をバランスよく配置し、四季のうつろいを演出します。

芝生広場のイメージ

エントランスの庭のイメージ


緑の回廊（歩道状空地）の緑化イメージ



緑化計画イメージ

自然素材と縦基調

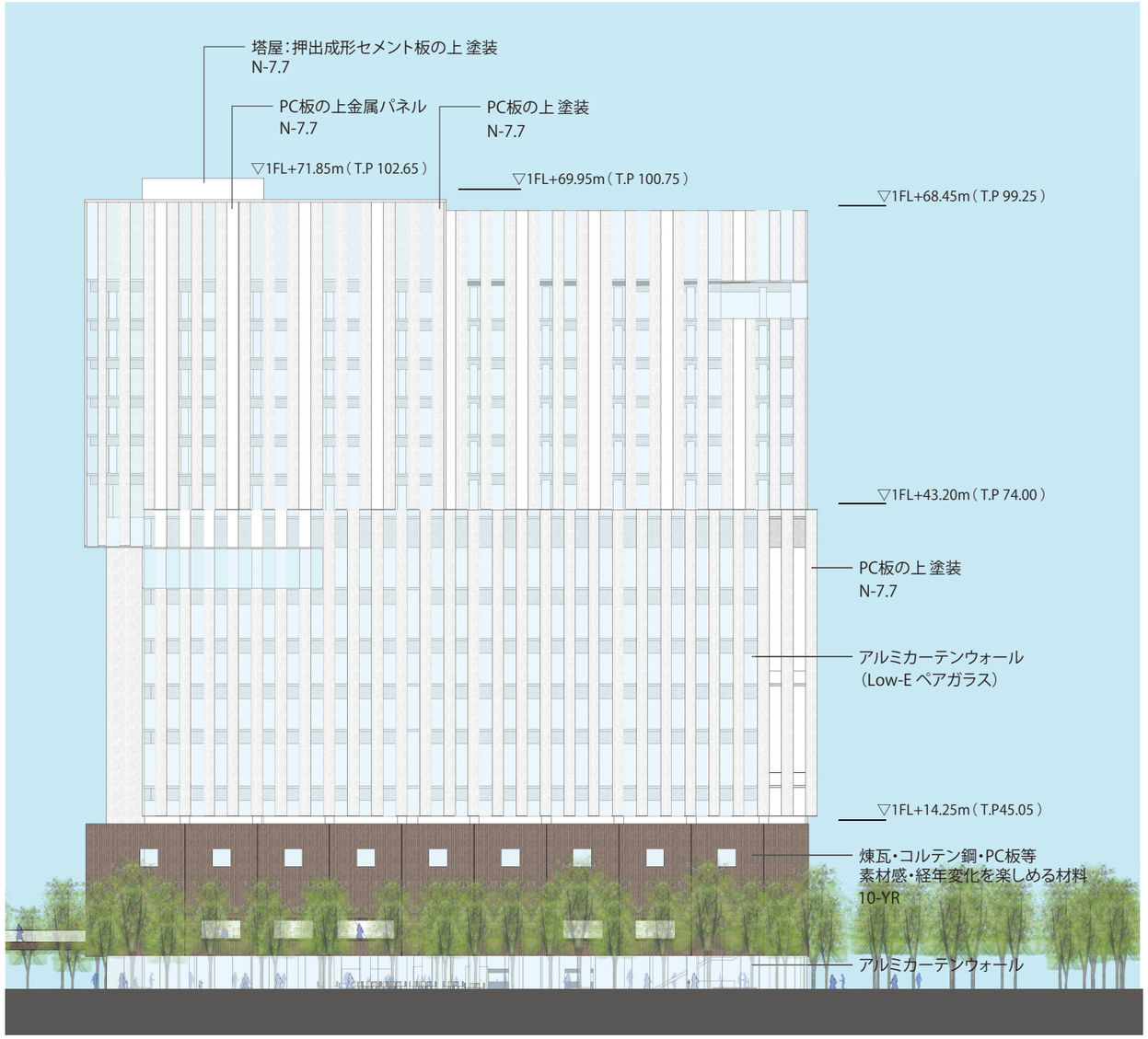
深い陰影

陰影を映し出す彫りの深い外観、
素材を活かしたテクスチャーに
よる風格あるデザイン

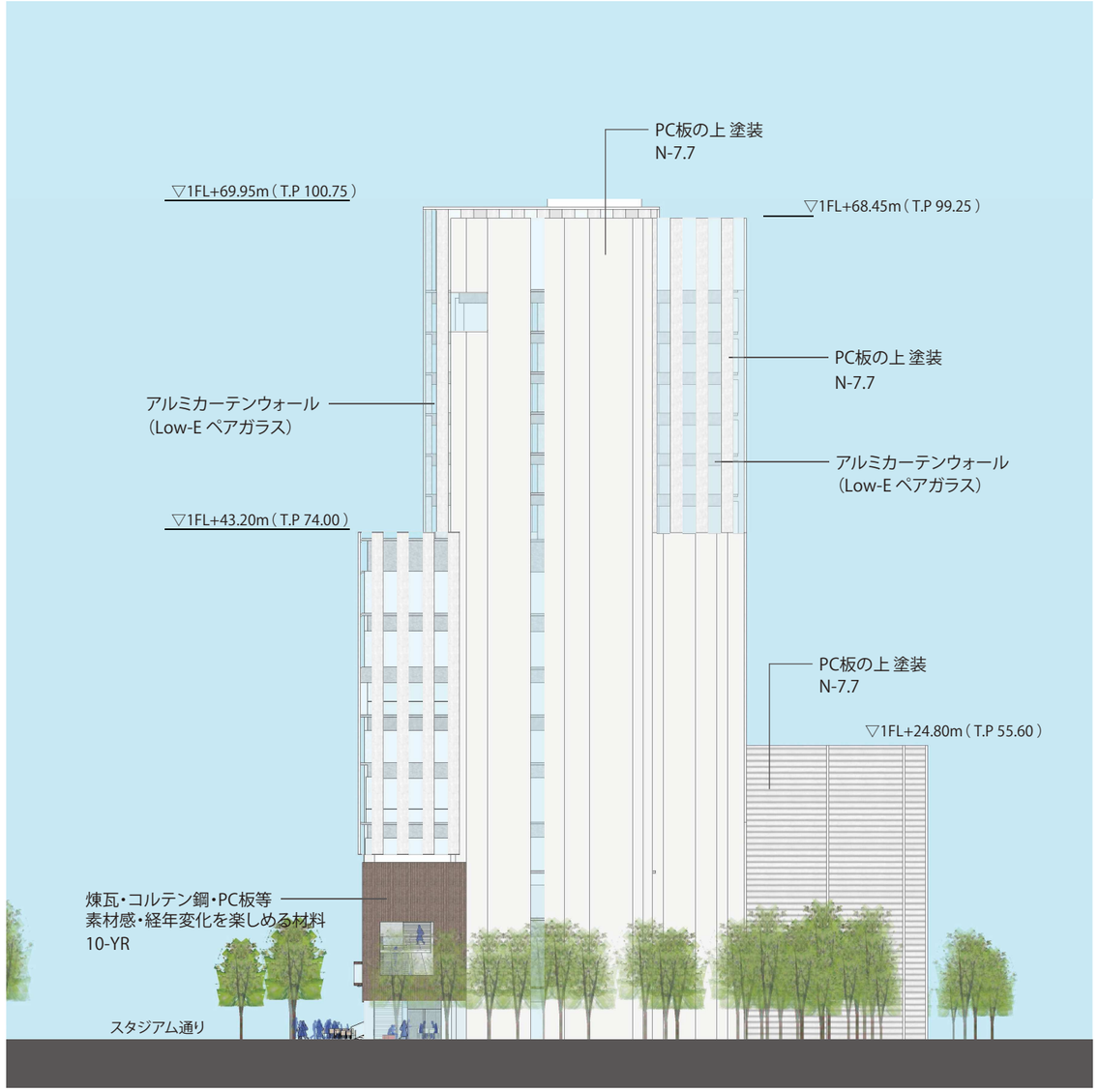
陰影を落とす水平ライン

落ち着いた素材と色彩

縦強調による陰影



東側立面図　S=1/500



北側立面図　S=1/500

デザインコードを統一、高層・中層・低層によりボリュームの分節を表現、周辺の街並みのスケールに合わせた外観

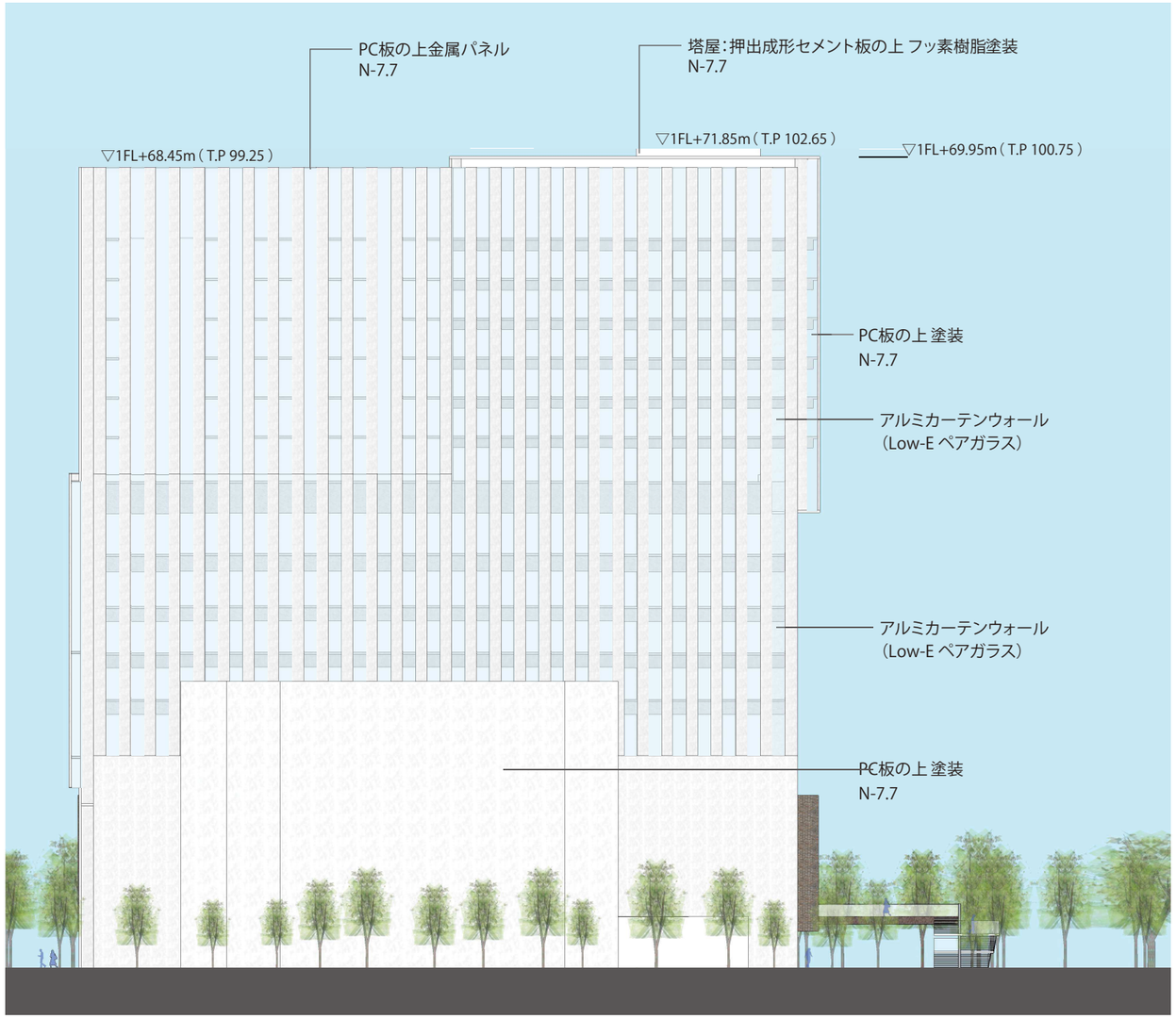
スタジアム通りとは縦ストライプの分節を大きくし、デザインコードを統一、各面ごとに表情に変化をもたせる

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

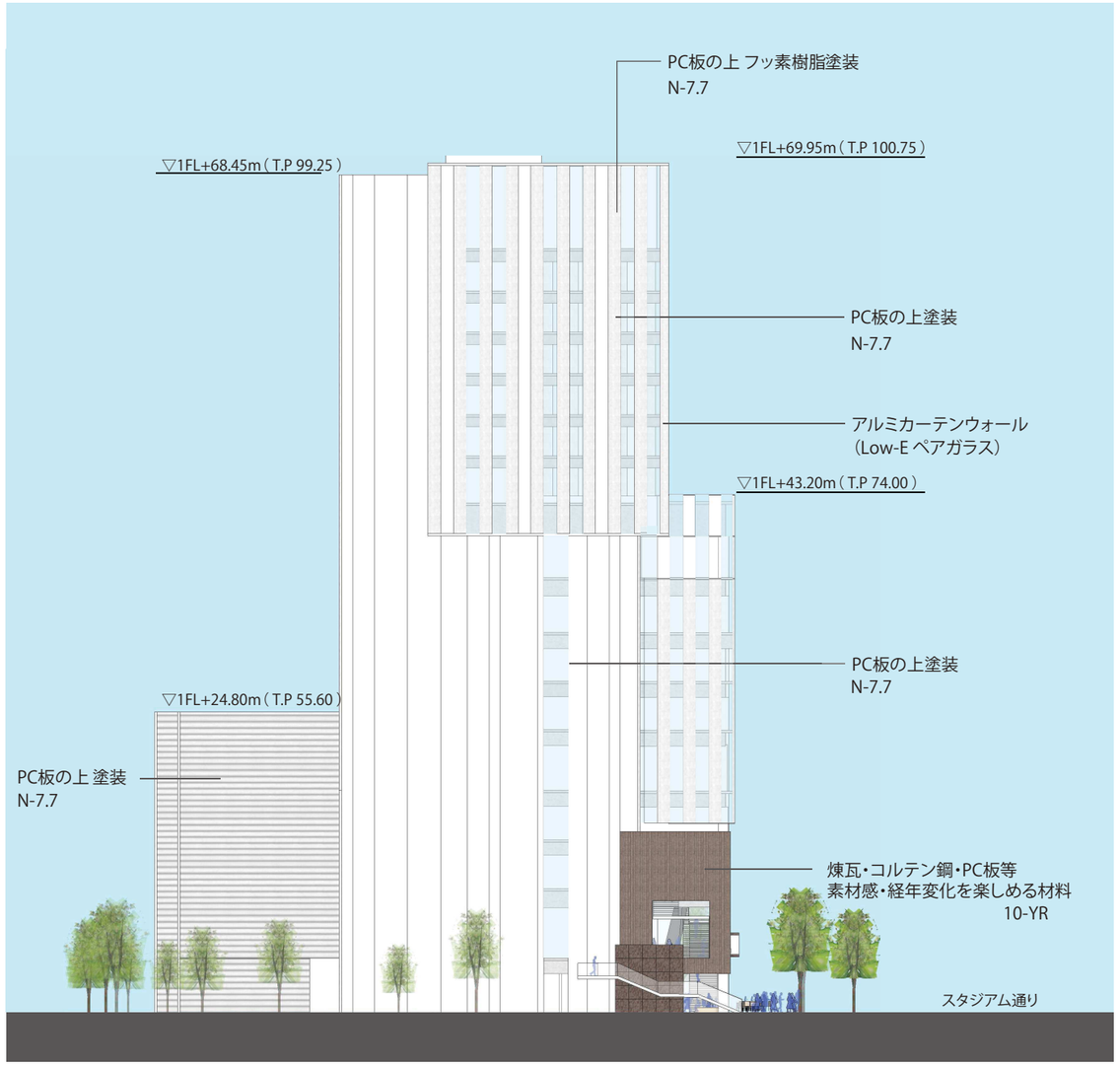
Low-Eガラス

リン酸処理パネル

煉瓦/スクラッチタイル



西側立面図　S=1/500



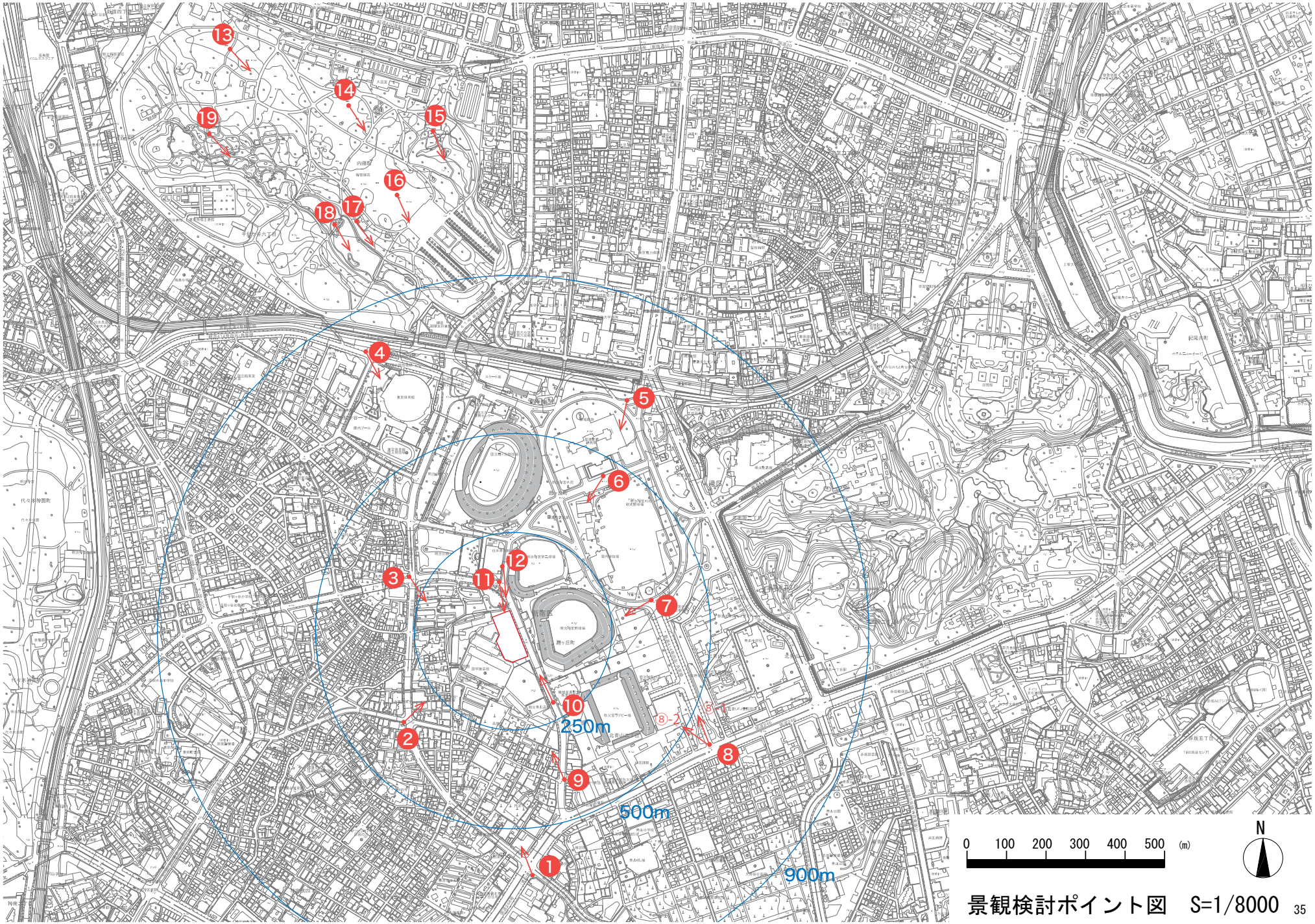
南側立面図　S=1/500

※1FL=T.P 30.8

デザインコードを統一、高層・中層・低層によりボリュームの分節を表現、周辺の街並みのスケールに合わせた外観

スタジアム通りとは縦ストライプの分節を大きくし、デザインコードを統一、各面ごとに表情に変化をもたせる

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。



景観検討ポイント図　S=1/8000

※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

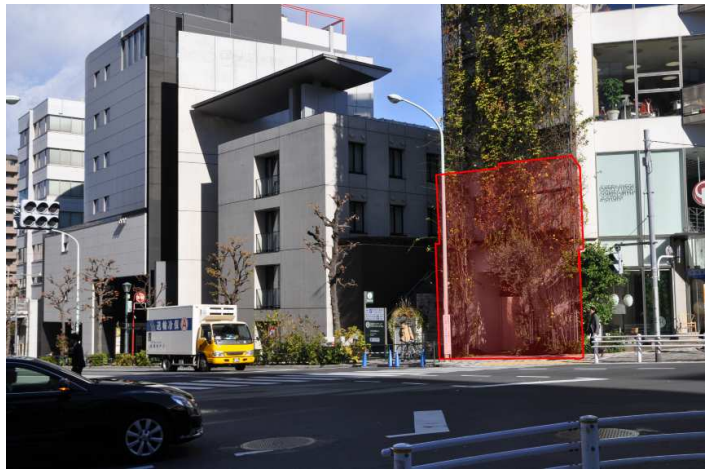
① 外苑前交差点（外苑西通り）

現状

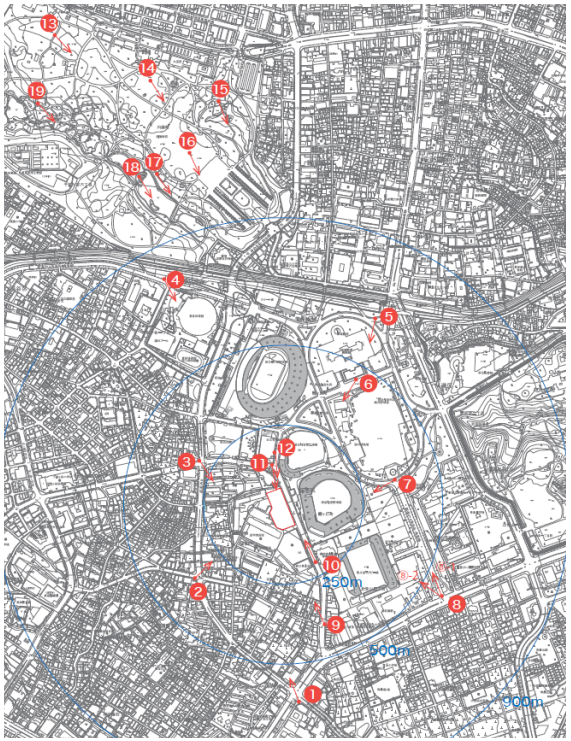
計画建物を入れた予想図

② 神宮前三丁目交差点２（外苑西通り）

現状



計画建物を入れた予想図



※現時点の計画であり、今後の関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。

③　仙寿院交差点（外苑西通り）

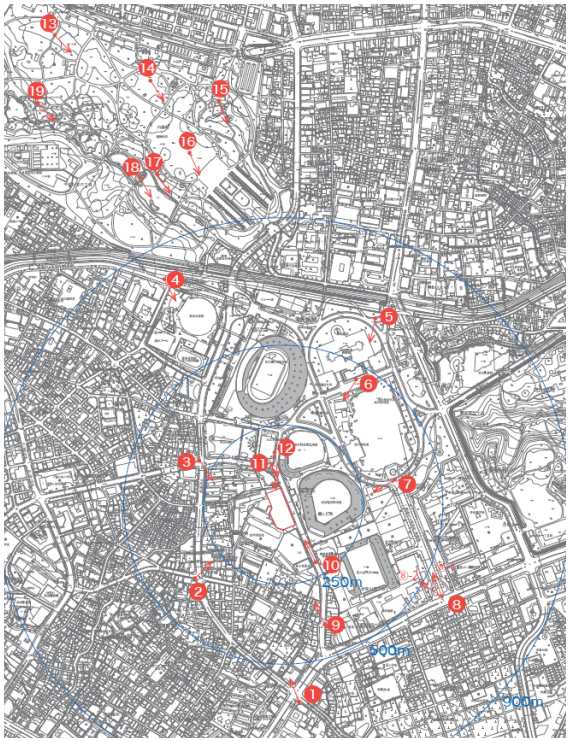
現状

計画建物を入れた予想図

④　千駄ヶ谷駅

現状

計画建物を入れた予想図



⑤　信濃町駅付近

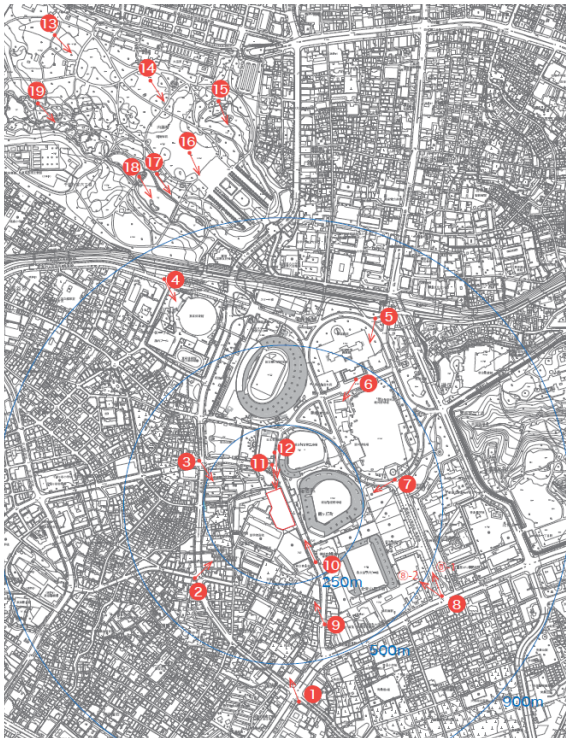
現状

計画建物を入れた予想図

⑥　絵画館前

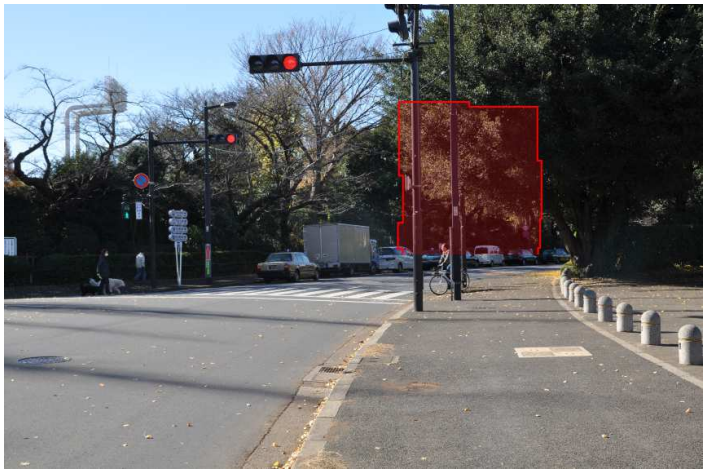
現状

計画建物を入れた予想図

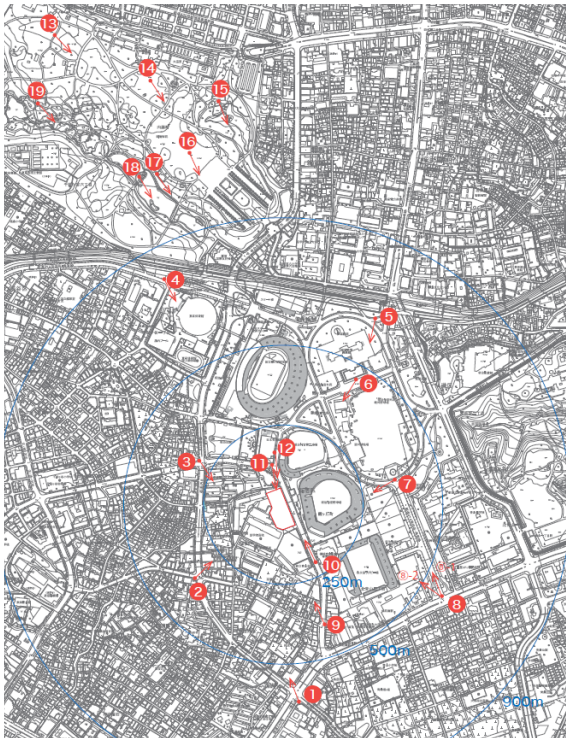


⑦　明治神宮外苑テニスコート付近

現状



計画建物を入れた予想図



⑧ -1　青山二丁目交差点 1

現状

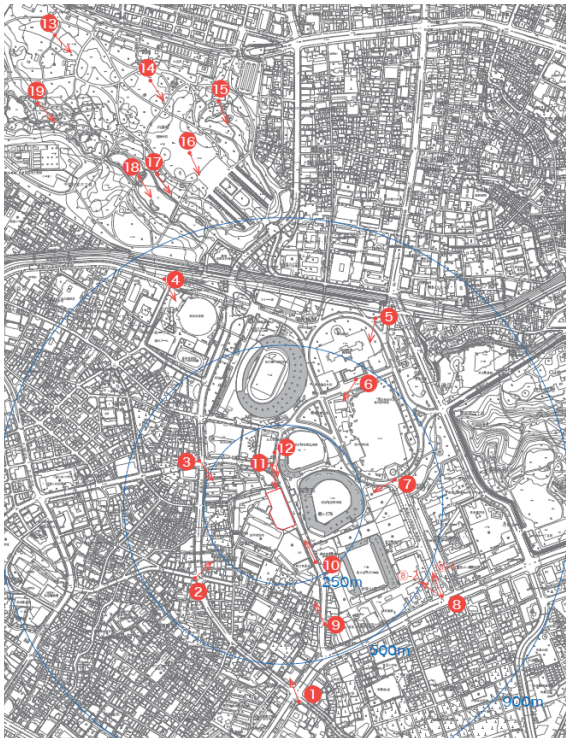
計画建物を入れた予想図

※この眺望点から計画建物は見えない。

⑧ -2　青山二丁目交差点 2

現状

計画建物を入れた予想図



⑨　スタジアム通り１

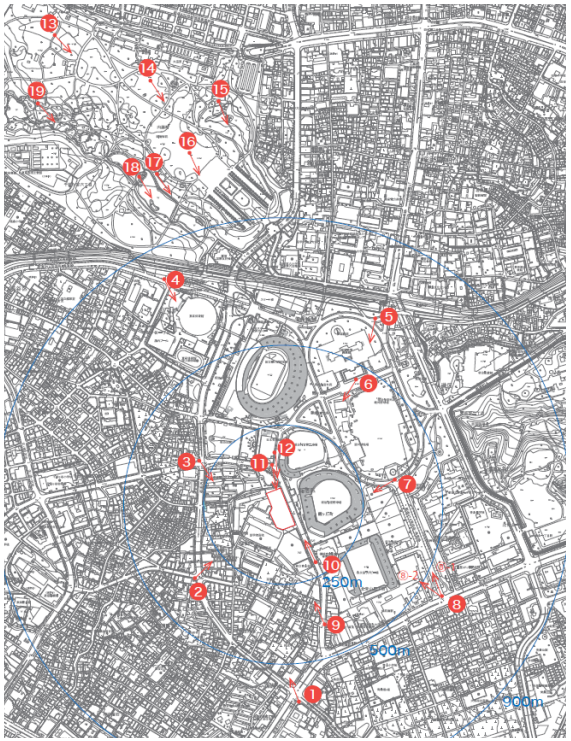
現状

計画建物を入れた予想図

⑩　スタジアム通り２

現状

計画建物を入れた予想図

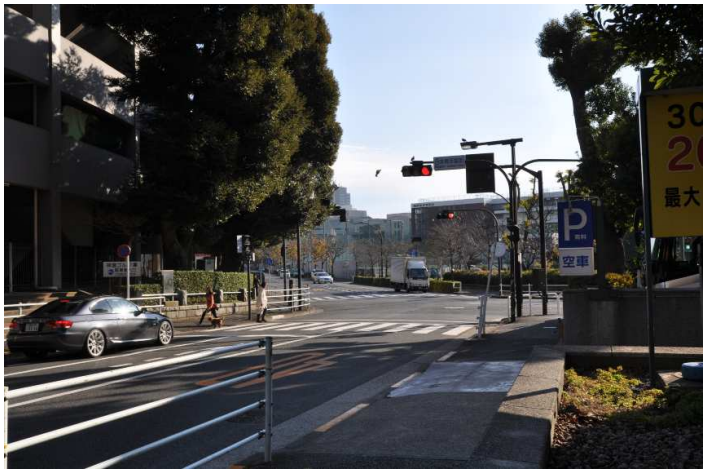


⑪　スタジアム通り３

現状

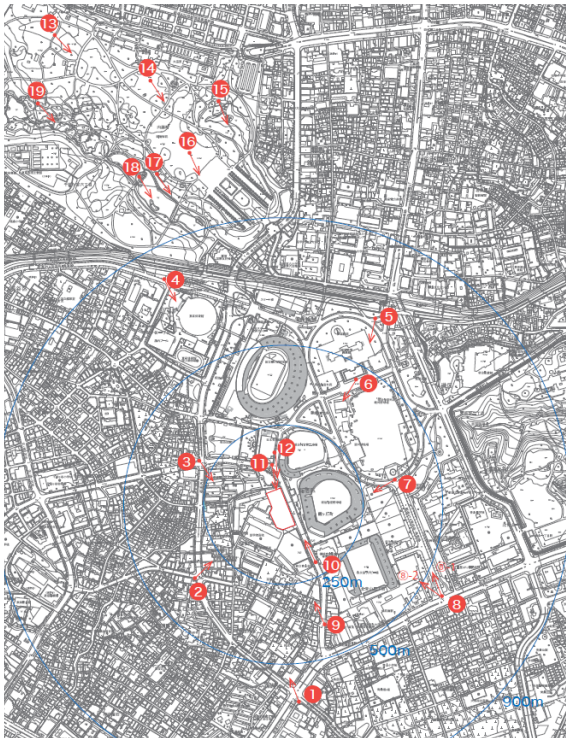
計画建物を入れた予想図

⑫　スタジアム通り４



現状

計画建物を入れた予想図



⑬　新宿御苑

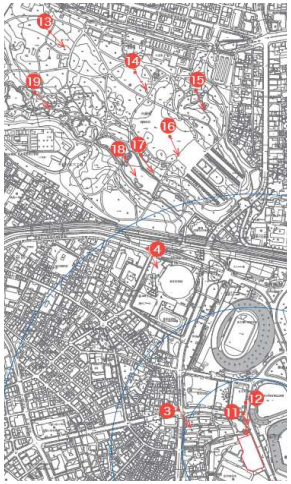
現状

計画建物を入れた予想図

⑭　新宿御苑

現状

計画建物を入れた予想図



⑮　新宿御苑

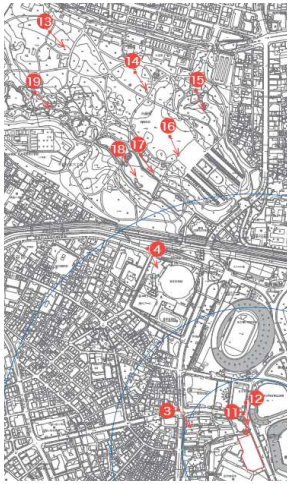
現状

計画建物を入れた予想図

⑯　新宿御苑

現状

計画建物を入れた予想図



⑰　新宿御苑

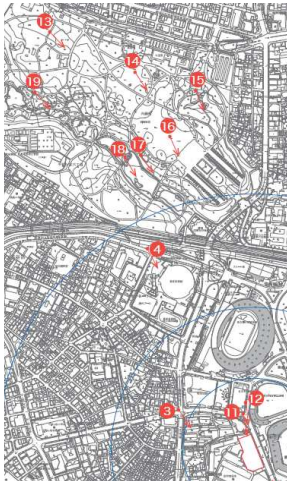
現状

計画建物を入れた予想図

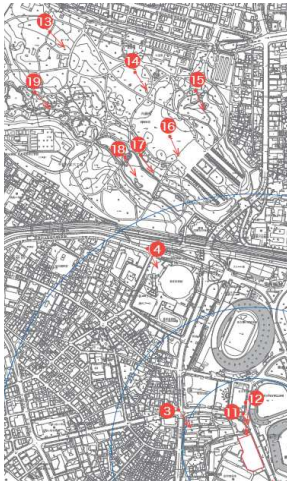
⑱　新宿御苑

現状

計画建物を入れた予想図



⑲　新宿御苑

現状

計画建物を入れた予想図